

産業デザイン分野スキルスタンダード

目次

1. 産業デザイン分野スキルスタンダードの目的	6
1.1. スキルスタンダードの基本概念	6
2. スキルスタンダードの構成	7
2.1. スキルスタンダードの全体構成	7
2.1.1. スキルユニットシート	7
2.1.2. キャリアシート	8
2.1.3. 業務フローシート	8
2.1.4. スキルユニットシート／キャリアシート対応表	8
2.1.5. スキルユニットシート／業務フローシート対応表	9
2.2. 各シートの詳細	9
2.2.1. スキルユニットシート（図2）	9
2.2.2. キャリアシート	12
2.2.3. 業務フローシート	15
2.2.4. スキルユニットシート／キャリアシート対応表	15
2.2.5. スキルユニットシート／業務フローシート対応表	19
3. スキルスタンダードの使用方法	20
3.1. スキルスタンダードの使用場面について	20
3.2. 個人の能力診断と今後のスキルアップ指針策定における使用方法	20
3.2.1. 業務フローから必要スキルを割り出す	20
3.2.2. キャリアパスから今後の指針を割り出す	22
3.3. 企業内の能力診断と今後の人材育成・調達指針策定における使用方法	23

3.3.1. スキルユニットシートをベースとした DB 構築	23
3.3.2. 業務フローに基づいた現状把握（A 方向）	24
3.3.3. 今後の人材育成・調達指針策定（B 方向）	26
3.4. 人材育成機関のプログラム策定および認定における使用方法	30

1. 産業デザイン分野スキルスタンダードの目的

産業デザイン分野スキルスタンダード（以下「スキルスタンダード」という）は、東京版スキルスタンダードに基づき産業デザインに関連した各種業務サービスの提供に必要とされる能力を体系化した指標です。産業デザイナーの教育・訓練・評価等において有効となる共通の「ものさし」を提供することを目的としています。

1.1. スキルスタンダードの基本概念

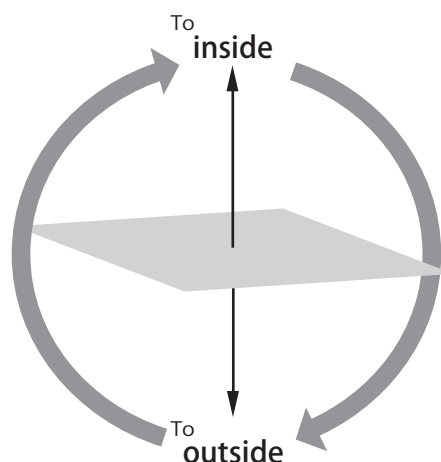
スキルスタンダードでは、産学界において「ものさし」が必要な場面を以下の二つの側面に分けて考えます。

To Inside (Education / Training)

- 企業内において企業戦略に沿った人材育成・調達を効果的に行うための指標として。
- 自社に必要な人材のポートフォリオを作成するためのフォーマットとして。

To Outside (Appeal)

- 社外に自社および自己の持つ能力を伝達するためのフォーマットとして。



これら二つの側面が相互に関係性を持ち、作用し合うことによって、企業内人材育成の活性化（To Inside）および産業の活性化（To Outside）を相互的に促すような仕組みとすることを基本的な概念としています。

2. スキルスタンダードの構成

2.1. スキルスタンダードの全体構成

スキルスタンダードは「スキルユニットシート」「キャリアシート」「業務フローシート」という3つのシートと「スキルユニットシート／キャリアシート対応表」および「スキルユニットシート／業務フローシート対応表」の2つの対応表から構成されます。それぞれのシート・対応表の概念的な位置づけは以下の図のようになります。

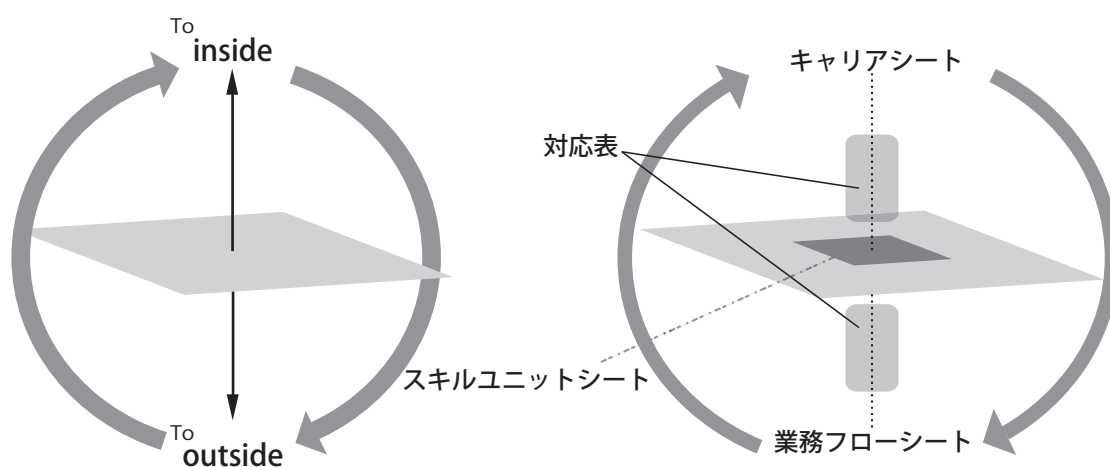
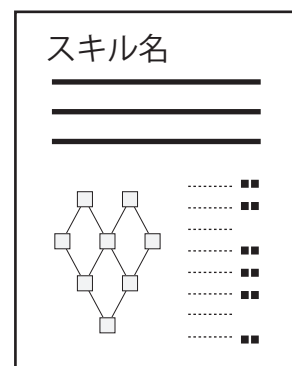


図1 スキルスタンダードの全体概念図

以下にそれぞれのシートの内容について説明します。

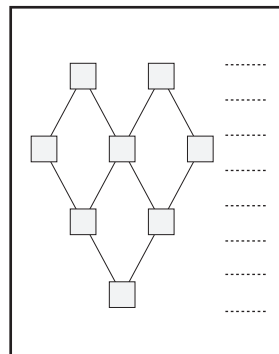
2.1.1. スキルユニットシート

産業デザインに関連した各種業務サービスの提供に必要な能力・知識体系を要素分解したシートです。スキルスタンダードではこのシートをベースに展開します。ただし、あくまで標準的な能力・知識体系を明示しているため、各企業・業態によってこれらのレベル水準には違いがあると推測されます。その場合は、このシートを基準に企業ごとにアレンジメントを加える事をお勧めします。なお、各ユニットは大項目・中項目・小項目に分類されていますので、その際にはこの分類項目を参照しつつアレンジメントを加えてください。



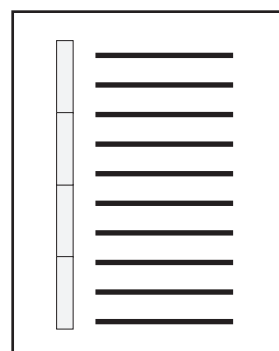
2.1.2. キャリアシート

産業デザイン分野において想定されうる職種および、それらのレベル水準を設定したシートです。また、それら職種に基づきキャリアパスの設定も行っています。中・長期的な人材育成に関する指標や、自己のキャリアデザインの指針としての使用を想定しています。なお、産業デザイン分野における職種は業種横断的であることを想定し、業種に関する情報を省いています。最終的な指標として用いる際には業種を考慮した方が効率的な場合もありますので、その場合は各自でアレンジメントを加えてください。



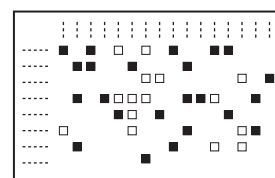
2.1.3. 業務フローシート

産業デザイン分野における普遍的な業務フローを業務発注単位で区切って分解したシートです。ここでも産業デザイン分野の業種横断性を考慮し、業種に関する情報は省いています。



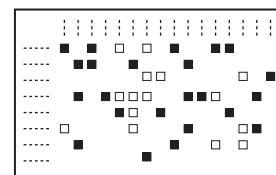
2.1.4. スキルユニットシート／キャリアシート対応表

スキルユニットシートとキャリアシートの対応表です。各スキルユニットに対して、それらが必要となるキャリアレベルの対応を表にまとめたものです。人材育成を計画する際に「どのようなスキルを習得すべきか」の指標を作成するための参照としてご使用ください。



2.1.5. スキルユニットシート／業務フローシート対応表

スキルユニットシートと業務フローシートの対応表です。業務フローに対して、それを遂行するために必要となるスキルの対応を表にまとめたものです。各業務のコンピテンシーをアピールするための裏付けとして、また各業務の遂行能力をさらに向上させるための参照としてご使用ください。



2.2. 各シートの詳細

ここでは各シートに含まれている要素について説明します。

2.2.1. スキルユニットシート（図2）

①ユニット名

当該スキルユニットの名前です。求められるスキル・知識の内容に沿った名称がつけられています。「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」や「基礎」「応用」「実務」などレベル・目標によって分類されている場合もあります。

②ユニット分類

スキルユニットではそれぞれの場面、知識内容によって「大項目」「中項目」「小項目」に分類しています。それぞれの分類内容に関しては以下の通りです。

大項目

業務場面に沿って計画（Planning）、設計（Designing）、展開（Expansion）の3つに分類するとともに総合的な分類として管理（Management）、教養（Basement）の2つに分類してあります。

計画（Planning）

事業全体の方向性決定から調査および個々の商品開発企画の立案など、開発自体の方向性付けを行うために必要なスキルの分類です。

設計（Designing）

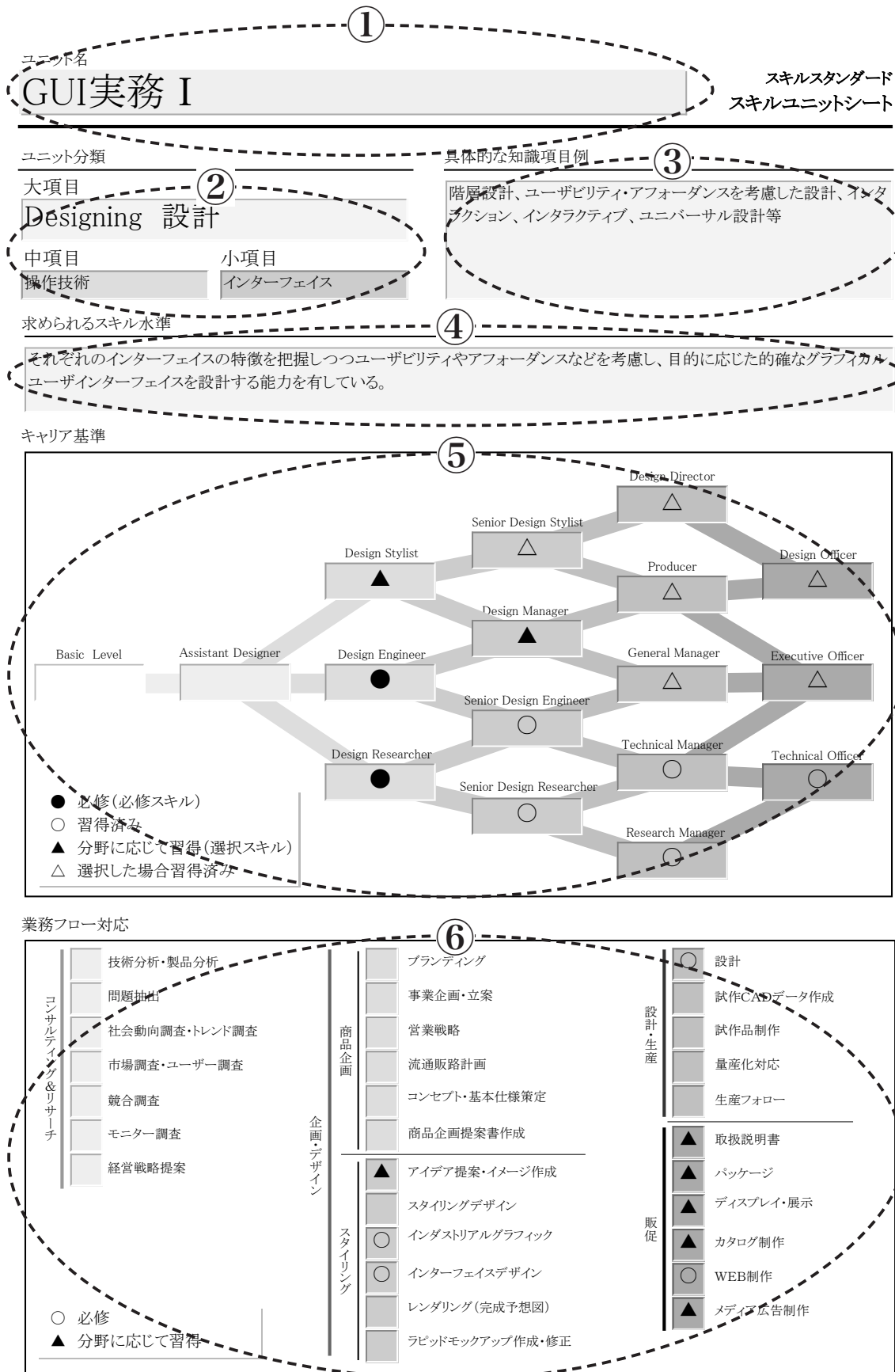


図2 スキルユニットシート例

ラフスケッチからプロトタイプモデル制作を経て、詳細設計、金型製作など、実際に設計・製作を行うために必要なスキルの分類です。

展開 (Expansion)

流通から広告・宣伝など、開発した商品を市場へと展開するために必要なスキルの分類です。

管理 (Management)

人材・組織・プロジェクト・品質など、業務に関わる様々な管理を行うために必要なスキルの分類です。

教養 (Basement)

ビジネスマナーやコミュニケーションをはじめ、様々な工学的リテラシーや人文社会的リテラシーなど、直接的に業務に関わらない部分のスキルに関する分類です。

中項目

大項目で分類された内容を領域もしくは事業単位によって区切ったスキル分類です。

小項目

中項目で分類された内容を分野もしくは業務単位によって区切ったスキル分類です。

③具体的な知識項目例

当該スキルユニットにおいて必要となる具体的な知識項目の例です。当該スキルユニットのレベル・内容を把握する際にご使用ください。ただし、ここに記述されている知識項目は基準の参考とするための具体例なので、ここに記述されている項目がすべてではありません。

④求められるスキル水準

当該スキルユニット習得を評価するための基準です。自己および自社で評価を行う際の参考としてご使用ください。

⑤キャリア基準

スキルユニットシート／キャリアシート対応表による対応関係をビジュアル化した表です。キャリアレベルにおいて当該スキルユニットが必要であるかどうかを記述しています。記号の意味は以下の通りです。

- ：当該キャリアにおいて習得が必須である
- ：当該キャリアに至るまでに習得が必須であった
- ▲：業務分野によっては当該キャリアにおいて習得が必須である
- △：当該キャリアに至るまでに▲を経ている可能性がある

⑥業務フロー対応

業務フローに対して、それを遂行するために当該スキルユニットが必要であるかどうかを記述した表です。記号の意味は以下の通りです。

- ：当該業務フローを遂行する場合、習得が必須である
- ▲：当該業務フローを遂行する場合、業務分野によっては習得が必須である

2.2.2. キャリアシート

①レベル

各職種はキャリアパスの設定を念頭に下記の水準でレベル分けしています。

レベル1

デザイン開発を行う者として最低限必要な基礎的知識および能力を有している。

レベル2

デザイン開発を行う者のアシストができる基礎的知識と技能を有している。

レベル3

自身の専門領域でデザイン開発を単独で行うことができる専門的な知識と専門技能を有している。

レベル4

自身の専門領域でデザイン開発を単独で行うことができ、かつ指導できる専門的な知識と専門技能を有している。

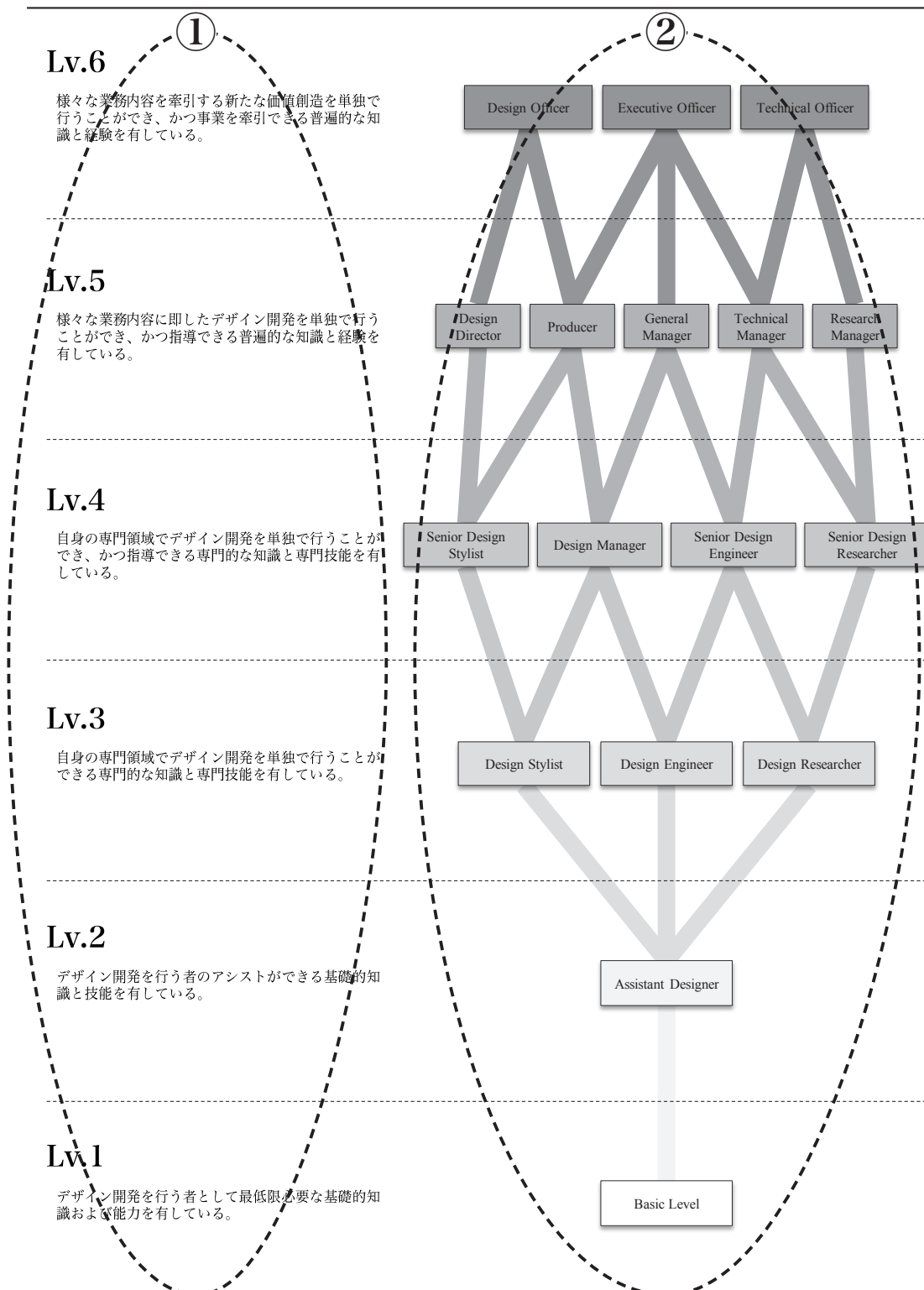
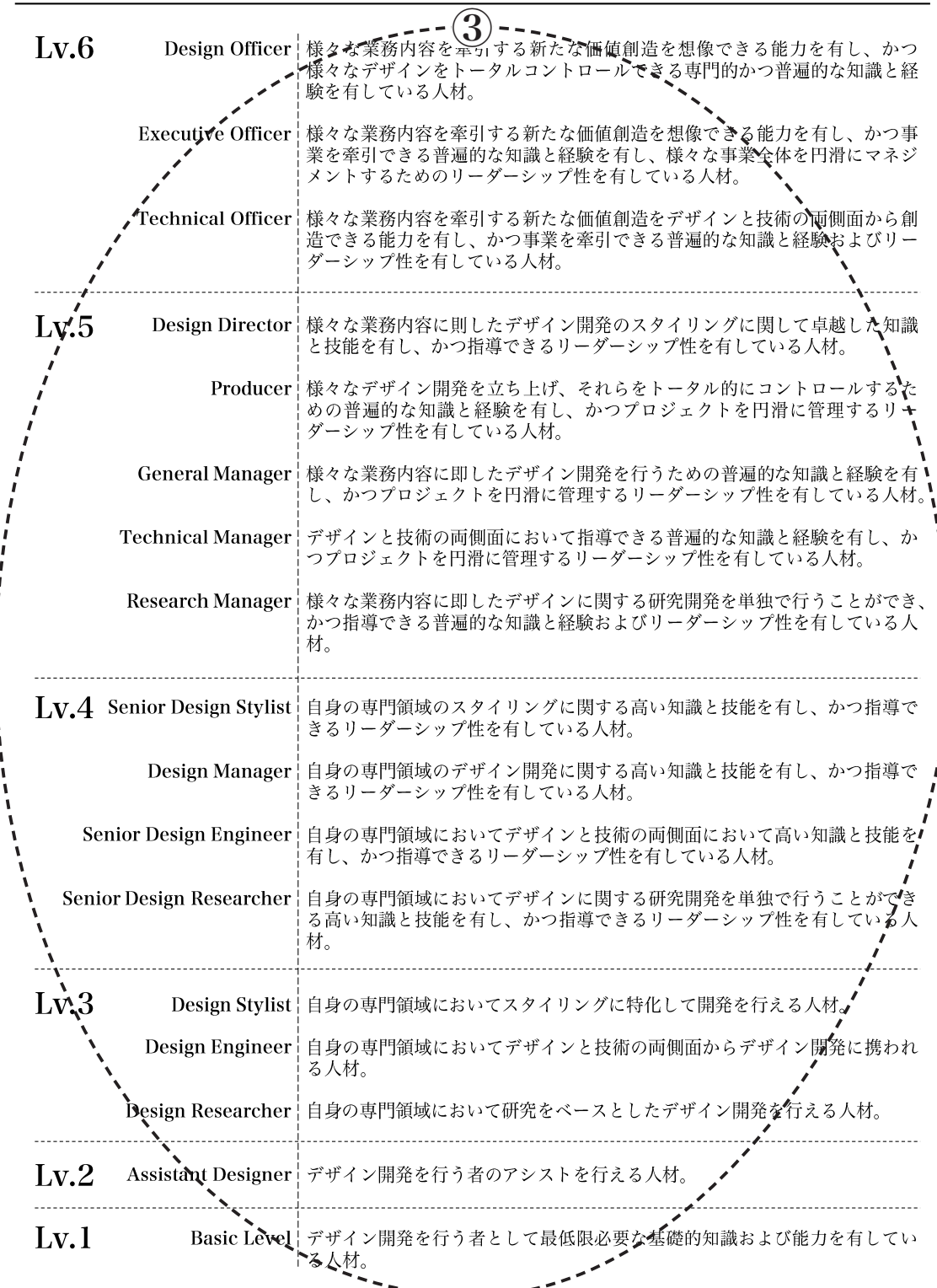


図3 キャリアシート（キャリアパス表）

スキルスタンダード
キャリアシート

各キャリア詳細



Lv.6	Design Officer	様々な業務内容を牽引する新たな価値創造を想像できる能力を有し、かつ様々なデザインをトータルコントロールできる専門的かつ普遍的な知識と経験を有している人材。
	Executive Officer	様々な業務内容を牽引する新たな価値創造を想像できる能力を有し、かつ事業を牽引できる普遍的な知識と経験を有し、様々な事業全体を円滑にマネジメントするためのリーダーシップ性を有している人材。
	Technical Officer	様々な業務内容を牽引する新たな価値創造をデザインと技術の両側面から創造できる能力を有し、かつ事業を牽引できる普遍的な知識と経験およびリーダーシップ性を有している人材。
Lv.5	Design Director	様々な業務内容に則したデザイン開発のスタイリングに関して卓越した知識と技能を有し、かつ指導できるリーダーシップ性を有している人材。
	Producer	様々なデザイン開発を立ち上げ、それらをトータル的にコントロールするための普遍的な知識と経験を有し、かつプロジェクトを円滑に管理するリーダーシップ性を有している人材。
	General Manager	様々な業務内容に即したデザイン開発を行うための普遍的な知識と経験を有し、かつプロジェクトを円滑に管理するリーダーシップ性を有している人材。
	Technical Manager	デザインと技術の両側面において指導できる普遍的な知識と経験を有し、かつプロジェクトを円滑に管理するリーダーシップ性を有している人材。
	Research Manager	様々な業務内容に即したデザインに関する研究開発を単独で行うことができ、かつ指導できる普遍的な知識と経験およびリーダーシップ性を有している人材。
Lv.4	Senior Design Stylist	自身の専門領域のスタイリングに関する高い知識と技能を有し、かつ指導できるリーダーシップ性を有している人材。
	Design Manager	自身の専門領域のデザイン開発に関する高い知識と技能を有し、かつ指導できるリーダーシップ性を有している人材。
	Senior Design Engineer	自身の専門領域においてデザインと技術の両側面において高い知識と技能を有し、かつ指導できるリーダーシップ性を有している人材。
	Senior Design Researcher	自身の専門領域においてデザインに関する研究開発を単独で行うことができる高い知識と技能を有し、かつ指導できるリーダーシップ性を有している人材。
Lv.3	Design Stylist	自身の専門領域においてスタイリングに特化して開発を行える人材。
	Design Engineer	自身の専門領域においてデザインと技術の両側面からデザイン開発に携われる人材。
	Design Researcher	自身の専門領域において研究をベースとしたデザイン開発を行える人材。
Lv.2	Assistant Designer	デザイン開発を行う者のアシストを行える人材。
Lv.1	Basic Level	デザイン開発を行う者として最低限必要な基礎的知識および能力を有している人材。

図4 キャリアシート（各キャリア詳細）

レベル5

様々な業務内容に即したデザイン開発を単独で行うことができ、かつ指導できる普遍的な知識と経験を有している。

レベル6

様々な業務内容を牽引する新たな価値創造を単独で行うことができ、かつ事業を牽引できる普遍的な知識と経験を有している。

②キャリアパス

キャリアシートではレベル水準ごとにそのレベル内で考えられうる職種をいくつか想定し、それらに対してキャリアパスのルートを設定しています。また、各キャリアの詳細については③の「各キャリア詳細」にまとめてあります。あくまで参考用なので各自でアレンジメントしていただいて構いません。

④キャリアパス別要求スキル一覧

各キャリアに対して、そのキャリア時に必要となるスキルについてまとめた表です。

2.2.3. 業務フローシート

⑤分類

業務フローシートでは通常的な業務フローに則した業務発注単位による業務の分類および、それらを取りまとめた分類を設定しています。また、各業務の内容についても説明しています。

2.2.4. スキルユニットシート／キャリアシート対応表

⑥スキルユニットシート部

スキルユニットシートと同じ項目が並んでいます。

⑦キャリアシート部

キャリアシートと同じ項目が並んでいます。

スキルスタンダード キャリアパス別要求スキル一覧

Assistant Designer LV.2

④			
大項目	中項目	小項目	ユニット
Basement 教養	ヒューマンスキル	ビジネスマナー	ビジネスマナー基礎 I
Basement 教養	語学	ビジネス英語	ビジネス英語 I
Basement 教養	工学リテラシー	材料工学一般	材料工学基礎 I
Basement 教養	デザイン工学リテラシー	人間工学デザイン一般	人間工学概論 I
Basement 教養	デザイン工学リテラシー	色彩一般	色彩科学一般
Basement 教養	人文社会リテラシー	心理学一般	心理学概論
Basement 教養	デザインリテラシー	環境デザイン一般	環境デザイン基礎 I
Basement 教養	デザインリテラシー	ヒューマンセンタードデザイン一般	デザインと人間 I
Basement 教養	デザインリテラシー	情報デザイン一般	グラフィックス一般
Basement 教養	デザインリテラシー	情報デザイン一般	タイポグラフィ一般
Basement 教養	デザインリテラシー	デザインの歴史	デザインの歴史 I
Basement 教養	デザインリテラシー	デザインと社会	戦後の社会変化とデザインの変遷
Basement 教養	デザインリテラシー	デザインと文化	デザインと文化 I
この段階までに習得済み必修スキル			
大項目	中項目	小項目	ユニット
Planing 計画	商品企画	コンセプト立案	コンセプト立案概論
Planing 計画	商品企画	コンセプト立案	アイデア想起 I
Planing 計画	商品企画	コンセプト立案	アイデア整理 I
Designing 設計	仕様設計	視覚表現	ラフスケッチ
Expansion 展開	アドバタイジング	販促物	POP基礎
Basement 教養	ヒューマンスキル	コミュニケーション	コミュニケーション基礎 I

図5 キャリアパス別要求スキル一覧例

5

コンサルティング&リサーチ	技術分析・製品分析	当該企業が保有する技術や製品から今後の方向性を検討する業務。
	問題抽出	経営・技術・ブランディングなど、様々な側面から現在の当該企業が抱える問題点を抽出する業務。
	社会動向調査・トレンド調査	経済動向や各種トレンドなど、マクロ的な視点から社会全体の動向を調査する業務。
	市場調査・ユーザー調査	特定製品分野の市場動向やユーザーの嗜好動向など、とある目的に関係する市場における動向を調査する業務。
	競合調査	競合他社の売上構造や商品構造、販売営業体制などの動向を調査する業務。
	モニター調査	特定の商品、広告、番組などに関してインタビューやアンケート等を実施し、意見、感想等を調査する業務。
	経営戦略提案	経営・技術・ブランディングなど、様々な側面から今後の経営方針について提案を行う業務。

企画・デザイン	商品企画	ブランディング	CI、BI、VIなど、各種ブランディングの提案およびトータルマネジメントを行う業務。
		事業企画・立案	新規事業企画の立案を行う業務。
		営業戦略	商品の営業販売方法や対象、販売個数など、商品の営業に関する戦略立案を行う業務。
		流通販路計画	商品のマーチャンダイジング方法や販路開拓計画など、商品の流通販売に関する戦略立案を行う業務。
		コンセプト・基本仕様策定	商品コンセプトや事業コンセプトの立案や基本仕様の策定などを行う業務。
		商品企画提案書作成	商品開発企画の提案書を作成する業務。
	スタイリング	アイデア提案・イメージ作成	アイデア提案やラフスケッチを行う業務。
		スタイリングデザイン	外観デザイン、カラー計画、素材検討など、商品のスタイリングのデザインを行う業務。
		インダストリアルグラフィック	製品上のマーク、ピクトグラムなど、商品に関連したグラフィックのデザインを行う業務。
		インターフェイスデザイン	ハードウェアインターフェイスやソフトウェアインターフェイス、GUIなどのデザインを行う業務。
		レンダリング（完成予想図）	完成予想図やCGなど、詳細のわかるレンダリングを行う業務。
		ラピッドモックアップ作成・修正	ラピッドモックアップの作成や修正を行う業務。

図6 業務フローシート例

⑥				⑦										
大項目	中項目	小項目	ユニット名	LV.1 Basic Level LV.1	LV.2 Assistant Designer LV.2	Design Stylist LV.3A	Design Engineer LV.3B	Design Researcher LV.3C	Senior Design Stylist LV.4A	Design Manager LV.4B	Senior Design Engineer LV.4C	Senior Design Researcher LV.4D	Senior Design Manager LV.4E	Senior Design Researcher LV.4F
Planing 計画	戦略策定	経営戦略	経営戦略概論											
		経営戦略立案	経営戦略立案											
		事業戦略	事業戦略概論											
		事業戦略立案	事業戦略立案											
	商品企画	デザイン戦略	デザイン戦略概論											
		デザイン戦略立案	デザイン戦略立案											
		コンセプト立案	コンセプト立案概論											
		コンセプト立案	要求仕様作成Ⅰ											
		コンセプト立案	要求仕様作成Ⅱ											
		コンセプト立案	アイデア創出Ⅰ											
		コンセプト立案	アイデア創出Ⅱ											
		コンセプト立案	アイデア創出Ⅲ											
		コンセプト立案	アイデア整理Ⅰ											
		コンセプト立案	アイデア整理Ⅱ											
		コンセプト立案	アイデア整理Ⅲ											
	立案	立案	商品企画立案Ⅰ											
		立案	商品企画立案Ⅱ											
		立案	商品企画立案Ⅲ											
		立案	立案調査											
		立案	立案調査Ⅰ											
		立案	立案調査Ⅱ											
		立案	立案調査Ⅲ											
		立案	立案調査Ⅳ											
	戦略基礎	トレンド調査	トレンド調査Ⅰ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅱ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅲ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅳ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅴ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅵ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅶ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅷ											
Planing 計画	仕様設計	調査解析	調査解析Ⅰ											
		調査解析	調査解析Ⅱ											
		調査解析	調査解析Ⅲ											
		調査解析	調査解析Ⅳ											
		調査解析	調査解析Ⅴ											
		調査解析	調査解析Ⅵ											
		調査解析	調査解析Ⅶ											
		調査解析	調査解析Ⅷ											
	アカウンティング	アカウンティング	アカウンティングⅠ											
		アカウンティング	アカウンティングⅡ											
		アカウンティング	アカウンティングⅢ											
		アカウンティング	アカウンティングⅣ											
		アカウンティング	アカウンティングⅤ											
		アカウンティング	アカウンティングⅥ											
		アカウンティング	アカウンティングⅦ											
		アカウンティング	アカウンティングⅧ											
	ファイナンス	ファイナンス	ファイナンスⅠ											
		ファイナンス	ファイナンスⅡ											
		ファイナンス	ファイナンスⅢ											
		ファイナンス	ファイナンスⅣ											
		ファイナンス	ファイナンスⅤ											
		ファイナンス	ファイナンスⅥ											
		ファイナンス	ファイナンスⅦ											
		ファイナンス	ファイナンスⅧ											
	企業倫理	企業倫理	企業倫理Ⅰ											
		企業倫理	企業倫理Ⅱ											
		企業倫理	企業倫理Ⅲ											
		企業倫理	企業倫理Ⅳ											
		企業倫理	企業倫理Ⅴ											
		企業倫理	企業倫理Ⅵ											
		企業倫理	企業倫理Ⅶ											
		企業倫理	企業倫理Ⅷ											

図7 スキルユニットシート／キャリアシート対応表例

⑨				⑩										
大項目	中項目	小項目	ユニット名	技術分 析・製品 分析	問題抽出	社会動向 調査・ト レンド調 査	市場調 査・ユー ザー調 査	競合調査	モニター 調査	経営戦略 提案	プラン ニング	事業企 画・立案	事業企 画・立案	事業企 画・立案
Planing 計画	戦略策定	経営戦略	経営戦略概論											
		経営戦略立案	経営戦略立案											
		事業戦略	事業戦略概論											
		事業戦略立案	事業戦略立案											
	商品企画	デザイン戦略	デザイン戦略概論											
		デザイン戦略立案	デザイン戦略立案											
		コンセプト立案	コンセプト立案概論											
		コンセプト立案	要求仕様作成Ⅰ											
		コンセプト立案	要求仕様作成Ⅱ											
		コンセプト立案	アイデア創出Ⅰ											
		コンセプト立案	アイデア創出Ⅱ											
		コンセプト立案	アイデア創出Ⅲ											
		コンセプト立案	アイデア整理Ⅰ											
		コンセプト立案	アイデア整理Ⅱ											
		コンセプト立案	アイデア整理Ⅲ											
	立案	立案	商品企画立案Ⅰ											
		立案	商品企画立案Ⅱ											
		立案	商品企画立案Ⅲ											
		立案	立案調査											
		立案	立案調査Ⅰ											
		立案	立案調査Ⅱ											
		立案	立案調査Ⅲ											
		立案	立案調査Ⅳ											
	戦略基礎	トレンド調査	トレンド調査Ⅰ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅱ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅲ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅳ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅴ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅵ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅶ											
		トレンド調査	トレンド調査Ⅷ											
Planing 計画	仕様設計	調査解析	調査解析Ⅰ											
		調査解析	調査解析Ⅱ											
		調査解析	調査解析Ⅲ											
		調査解析	調査解析Ⅳ											
		調査解析	調査解析Ⅴ											
		調査解析	調査解析Ⅵ											
		調査解析	調査解析Ⅶ											
		調査解析	調査解析Ⅷ											
	アカウンティング	アカウンティング	アカウンティングⅠ											
		アカウンティング	アカウンティングⅡ											
		アカウンティング	アカウンティングⅢ											
		アカウンティング	アカウンティングⅣ											
		アカウンティング	アカウンティングⅤ											
		アカウンティング	アカウンティングⅥ											
		アカウンティング	アカウンティングⅦ											
		アカウンティング	アカウンティングⅧ											
	ファイナンス	ファイナンス	ファイナンスⅠ											
		ファイナンス	ファイナンスⅡ											
		ファイナンス	ファイナンスⅢ											
		ファイナンス	ファイナンスⅣ											
		ファイナンス	ファイナンスⅤ											
		ファイナンス	ファイナンスⅥ											
		ファイナンス	ファイナンスⅦ											
		ファイナンス	ファイナンスⅧ											
	企業倫理	企業倫理	企業倫理Ⅰ											
		企業倫理	企業倫理Ⅱ											
		企業倫理	企業倫理Ⅲ											
		企業倫理	企業倫理Ⅳ											
		企業倫理	企業倫理Ⅴ											
		企業倫理	企業倫理Ⅵ											
		企業倫理	企業倫理Ⅶ											
		企業倫理	企業倫理Ⅷ											

図8 スキルユニットシート／業務フローシート対応表例

⑧対応表

スキルユニットシートとキャリアシートの対応関係が記述されています。記号はスキルユニットシート内のキャリア基準と同じです。

2.2.5. スキルユニットシート／業務フローシート対応表

⑨スキルユニットシート部

スキルユニットシートと同じ項目が並んでいます。

⑩秒無フローシート部

業務フローシートと同じ項目が並んでいます。

⑪対応表

スキルユニットシートと業務フローシートの対応関係が記述されています。記号はスキルユニットシート内の業務フロー対応と同じです。

3. スキルスタンダードの使用方法

3.1. スキルスタンダードの使用場面について

スキルスタンダードでは以下のような使用場面を想定しています。

1. 個人の能力診断と今後のスキルアップ指針策定
2. 企業内の能力診断と今後の人材育成・調達指針策定
3. 人材育成機関のプログラム策定と認定

以下にそれぞれの場面における使用方法について説明します。

3.2. 個人の能力診断と今後のスキルアップ指針策定における使用方法

3.2.1. 業務フローから必要スキルを割り出す

まず「スキルユニットシート／業務フローシート対応表」を使用します。当該対応表の業務フロー部にある項目から、これまでに主担当を行った業務を選択します。

ユニット名	コンサルティング&リサーチ							商業デザイン	
	技術分析・製品分析	問題抽出	社会動向調査・トレンド調査	市場調査・ユーザー調査	競合調査	モニター調査	経営戦略提案	ブランディング	事業企画・立案
経営戦略概論	○	○			○		○	○	○
経営戦略立案	○	○			▲		○	○	○
事業戦略概論	○	○			○		○	○	○
事業戦略立案	○	○			▲		○	○	▲
デザイン戦略概論	○	○			▲		○	○	○
デザイン戦略立案	○	○			○		○	○	▲
コンセプト立案概論	○	○	○	○	○		○	○	○
要求仕様作成Ⅰ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
要求仕様作成Ⅱ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アイデア想起Ⅰ	▲	▲					○	○	○
アイデア想起Ⅱ	▲	▲					○	○	○
アイデア想起Ⅲ	▲	▲					○	○	○
アイデア整理Ⅰ	○	○					○	○	○
アイデア整理Ⅱ	○	○					○	○	○
アイデア整理Ⅲ	○	○					○	○	○
商品企画立案Ⅰ	○	○					○	○	○
商品企画立案Ⅱ	○	○					○	○	○
商品企画立案Ⅲ	○	○					○	○	○
定量調査	▲	▲	▲	○	▲	○	▲	▲	▲
定性調査Ⅰ			▲	○	▲	○	▲	▲	▲
定性調査Ⅱ			▲	○	▲	○	▲	▲	▲
定量調査			○	○	○	▲	▲	▲	▲
定性調査			▲	○	○	○	▲	▲	▲
シーズ調査Ⅰ	○	○	○		○		▲		▲
シーズ調査Ⅱ	○	○	○		○		▲		▲
定量調査解析			○	○	○	▲	▲	▲	▲
定性調査解析			▲	○	○	○	▲	▲	▲
アカウンティングⅠ		○			○		○	○	○

その後、選択した列にある「○」および「▲」から各行（ユニット名）にある「○」および「▲」の個数を計算します。

ユニット名	コンサルティング&リサーチ							ブランディング				
	技術分析・製品分析	問題抽出	社会動向調査・トレンド調査	市場調査・ユーザー調査	競合調査	モニター調査	経営戦略提案					
経営戦略概論	○	○					○	○	○	2	▲	0
経営戦略立案					▲				○	2	▲	0
事業戦略概論	○	○			○		○	○	○	2	▲	0
事業戦略立案	○	○			▲				○	2	▲	0
デザイン戦略概論	○	○			▲		○	○	○	2	▲	0
デザイン戦略立案	○	○			▲		○	○	○	2	▲	0
コンセプト立案概論	○	○	○	○			○	○	○	3	▲	0
要求仕様作成Ⅰ	○	○			○	○		○	○	4	▲	0
要求仕様作成Ⅱ	○	○			○	○		○	○	4	▲	0
アイデア想起Ⅰ	▲	▲					○	○	○	1	▲	1
アイデア想起Ⅱ	▲	▲					○	○	○	1	▲	1
アイデア想起Ⅲ	▲	▲					○	○	○	1	▲	1
アイデア整理Ⅰ	○	○					○	○	○	2	▲	0
アイデア整理Ⅱ	○	○					○	○	○	2	▲	0
アイデア整理Ⅲ	○	○					○	○	○	2	▲	0
商品企画立案Ⅰ	○	○					○	○	○	2	▲	0
商品企画立案Ⅱ	○	○					○	○	○	2	▲	0
商品企画立案Ⅲ	○	○					○	○	○	2	▲	0
定量調査	▲	▲	▲	○	▲	○	▲	▲	○	1	▲	3
定性調査Ⅰ			▲	○	▲	○	▲	▲	○	1	▲	2
定性調査Ⅱ			○	○	▲	○	▲	▲	○	1	▲	2
定量調査			○	○	○	▲	▲	▲	○	1	▲	2
定性調査			▲	○	○	○	▲	▲	○	1	▲	2
シーズ調査Ⅰ	○	○	○				▲		○	2	▲	0
シーズ調査Ⅱ	○	○	○				▲		○	2	▲	0
定量調査解析			○		○	▲		▲	○	1	▲	2
定性調査解析			▲		○			▲	○	1	▲	2
アカウンティングⅠ		○			○	○		○	○	1	▲	0

計算された個数に沿って行を並べ替えると、選択した業務を遂行するために必要となるスキルとその重要度が算出されます。この項目に基づいてスキルユニットシートを確認し、当該スキルを習得しているかどうかを自己診断してください。

	コンサルティング&リサーチ					
ユニット名	技術分析・製品分析	問題抽出	社会動向調査・トレンド調査	市場調査・ユーザー調査	総合調査 モニター調査	経営戦略提案 ブランディング
要求仕様作成Ⅰ	○	○	○	○	○	○
要求仕様作成Ⅱ	○	○	○	○	○	○
プロジェクトマネジメントⅠ	○	○	○	○	○	○
プロジェクトマネジメントⅡ	○	○	○	○	○	○
コンプライアンスマネジメント	○	○	○	○	○	○
情報セキュリティ基礎	○	○	○	○	○	○
コミュニケーション基礎Ⅰ	○	○	○	○	○	○
コミュニケーション基礎Ⅱ	○	○	○	○	○	○
コミュニケーション応用Ⅰ	○	○	○	○	○	○
コミュニケーション応用Ⅱ	○	○	○	○	○	○
プレゼンテーション基礎Ⅰ	○	○	○	○	○	○
プレゼンテーション基礎Ⅱ	○	○	○	○	○	○
プレゼンテーション応用Ⅱ	○	○	○	○	○	○
状況判断Ⅰ	○	○	○	○	○	○
状況判断Ⅱ	○	○	○	○	○	○
状況判断Ⅲ	○	○	○	○	○	○
ビジネスマナー基礎Ⅰ	○	○	○	○	○	○
ビジネスマナー基礎Ⅱ	○	○	○	○	○	○
ビジネス文書	○	○	○	○	○	○
ビジネス英語Ⅰ	○	○	○	○	○	○
ビジネス英語Ⅱ	○	○	○	○	○	○
倫理学概論	○	○	○	○	○	○
倫理学応用	○	○	○	○	○	○
コンセプト立案概論	○	○	○	○	○	○
ブランドマネジメントⅠ	○	○	○	○	○	○
ブランドマネジメントⅡ	○	○	○	○	○	○
マーケティング概論Ⅰ	○	○	○	○	○	○
マーケティング概論Ⅱ	○	○	○	○	○	○

3.2.2. キャリアパスから今後の指針を割り出す

今度はキャリアパスシートを使用します。先ほどの自己診断と「キャリアパス別要求スキル一覧」を比較しつつ、自分の自己診断スキルから、現在自分が概ね該当しているキャリアのレベルを推定します。この時、自己診断スキルから街灯キャリアの推定が難しい場合はキャリアシート内の「各キャリア詳細」を参照し、自分が現在置かれている立場・状況と照らし合わせて推定していただいても構いません。

その後、キャリアパス表を参照し、今後自分が進みたいキャリアの方向性を自己診断してください。この時、それぞれのキャリア詳細については「各キャリア詳細」を参照してください。そして、進むべきキャリアが決定したら、「キャリアパス別要求スキル一覧」を参照しつつ、自己診断と照らし合わせ、今後の方向性に対して未習得のスキルを割り出し、スキルユニットを参照しつつ、当該スキルの習得を行ってください。

スキルスタンダード キャリアパス別要求スキル一覧

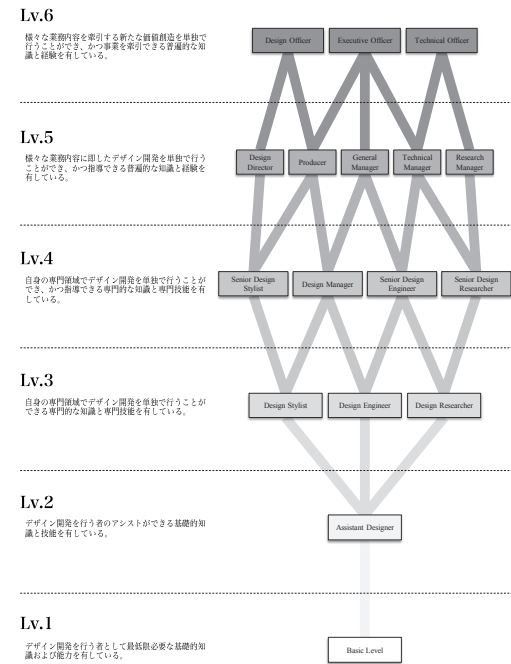
Assistant Designer LV.2			
大項目	中項目	小項目	ユニット
Basement 教養	ヒューマンスキル	ビジネスマナー	ビジネスマナー基礎 I
Basement 教養	語学	ビジネス英語	ビジネス英語 I
Basement 教養	工学リテラシー	材料工学一般	材料工学基礎 I
Basement 教養	デザイン工学リテラシー	人間工学デザイン一般	人間工学概論 I
Basement 教養	デザイン工学リテラシー	色彩一般	色彩科学一般
Basement 教養	人文社会リテラシー	心理学一般	心理学概論
Basement 教養	デザインリテラシー	環境デザイン一般	環境デザイン基礎 I
Basement 教養	デザインリテラシー	ヒューマンセンタードデザイン一般	デザインと人間 I
Basement 教養	デザインリテラシー	情報デザイン一般	グラフィックス一般
Basement 教養	デザインリテラシー	情報デザイン一般	タイポグラフィ一般
Basement 教養	デザインリテラシー	デザインの歴史	デザインの歴史 I
Basement 教養	デザインリテラシー	デザインと社会	戦後の社会変化とデザインの変遷
Basement 教養	デザインリテラシー	デザインと文化	デザインと文化 I

この段階までに習得済み必修スキル

大項目	中項目	小項目	ユニット
Planning 計画	商品企画	コンセプト立案	コンセプト立案概論
Planning 計画	商品企画	コンセプト立案	アイデア想起 I
Planning 計画	商品企画	コンセプト立案	アイデア整理 I
Designing 設計	仕様設計	視覚表現	ラフスケッチ
Expansion 展開	アドバタイジング	販促物	POP基礎
Basement 教養	ヒューマンスキル	コミュニケーション	コミュニケーション基礎 I

スキルスタンダード
キャリアシート

キャリアパス表



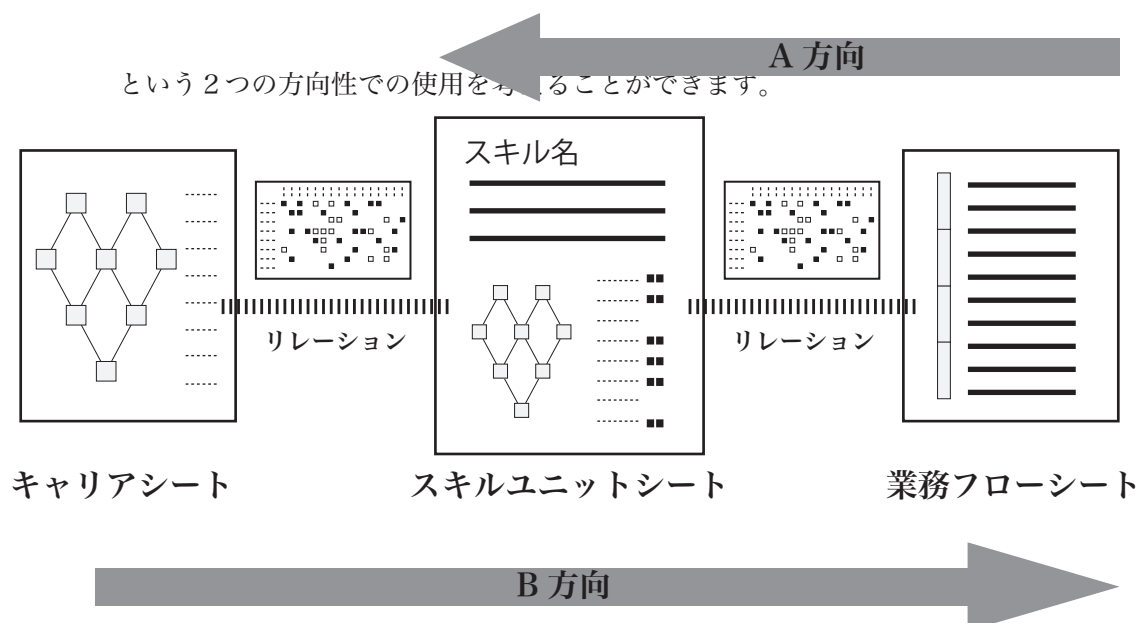
3.3. 企業内の能力診断と今後の人材育成・調達指針策定における使用方法

スキルスタンダードでは、産業デザインに関連した各種業務サービスの提供に必要とされる能力を体系化した指標構築を目的としており、基本的にはデータベース構築用のフォーマット提供を達成目標としています。そのため、個人用のツールよりもデータベース開発用のフォーマットとする方が使い勝手はよくなります。以下はその使用方法例です。

3.3.1. スキルユニットシートをベースとした DB 構築

データベースとしてスキルスタンダードを考えた場合、その構造はスキルユニットシートを主キーとして業務フローシートおよびキャリアシートがリレーションで連結されていると考えることができます。つまり、キャリアシートは「社内の人材能力把握」のツール、業務フローシートは「全体としての能力把握」のツールであると考えることができます。以上のことからデータベースとしてのスキルスタンダード使用を考えた場合、

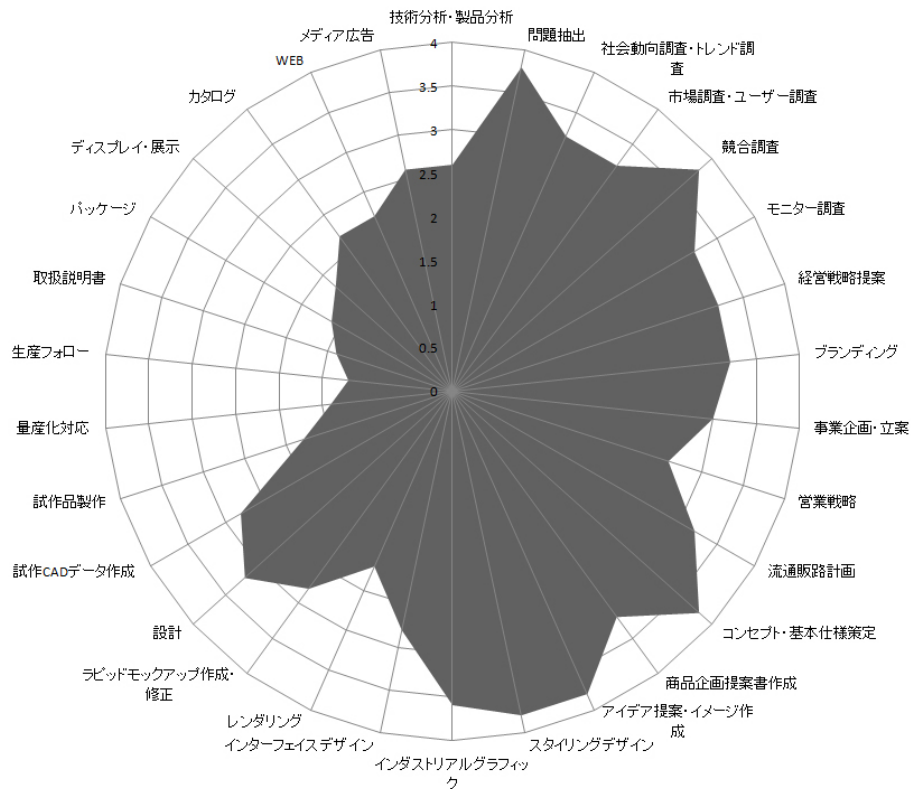
- ・「現在請け負っている業務フロー」と「今後伸ばしたい業務フロー」から社内に獲得すべき人材を把握する（A 方向）
- ・「社内にいる人材のスキル」を把握し、「今後請け負い可能な業務フロー」の可能性を把握するとともに補強すべき人材を把握する（B 方向）



3.3.2. 業務フローに基づいた現状把握（A 方向）

次に具体的なデータベースの構築方法について説明します。まず、業務フローシートに対して社内の各個人がどれだけ請け負い可能であるかを記述するフォーマットを

		A	B	C	D	E	合計値
コンサルティング&リサーチ	技術分析・製品分析	5	3	2	2	1	2.6
	問題抽出	4	4	5	4	2	3.8
	社会動向調査・トレンド調査	4	3	4	3	2	3.2
	市場調査・ユーザー調査	4	2	3	4	3	3.2
	競合調査	3	4	4	4	4	3.8
	モニター調査	4	4	3	2	3	3.2
	経営戦略提案	3	3	2	4	4	3.2
企画・デザイン	商品企画	ブランディング	4	2	2	4	3.2
		事業企画・立案	5	4	2	2	3
		営業戦略	3	1	3	4	2.6
		流通販路計画	3	3	4	3	3.2
		コンセプト・基本仕様策定	5	3	3	4	3.8
		商品企画提案書作成	4	2	4	2	3.2
	スタイリング	アイデア提案・イメージ作成	5	4	4	3	3.8
		スタイリングデザイン	5	3	4	5	3.8
		インダストリアルグラフィック	3	4	5	5	3.6
		インターフェイスデザイン	2	2	2	4	2.8
		レンダリング	0	3	1	5	2.2
		ラビッドモックアップ作成・修正	0	3	4	2	2.8
設計・生産	設計	2	3	2	4	5	3.2
	試作CADデータ作成	2	2	4	2	4	2.8
	試作品製作	0	1	1	3	4	1.8
	量産化対応	0	0	0	4	3	1.4
	生産フォロー	0	0	0	3	3	1.2
販促	取扱説明書	2	1	1	2	1	1.4
	パッケージ	1	2	3	1	1	1.6
	ディスプレイ・展示	2	1	2	3	1	1.8
	カタログ	1	2	3	4	1	2.2
	WEB	1	2	2	3	3	2.2
	メディア広告	5	2	3	3	0	2.6



用意します。その後、それらの値と合計値をデータベースとして格納してください。

前頁にある例では５段階評価によって各個人の評価とその平均値を格納しています。
この平均値をレーダーチャート化すると、現在の社内における各業務フローでの能力
値が明らかとなります。

その後、業務フローで得た値を「スキルユニット／業務フローシート対応表」を使用
してスキルユニットシートへ流し込みます。下図の例では、それらの個数平均値を取
ることによって各スキルの重要度算出を行っています。この場合の重要度算出につ

大分類	小項目	ユニット名	コンサルティング＆リサーチ															
			技術分 析・製品 分析		企画・商品 企画・商品 企画・商品		社会動向 調査・ト レンド調 査		市場調 査・ユー ザー調査		総合調査		モニタ ー調査		経営戦略 提案			
			○個数	△個数	○平均値	△平均値	2.6	3.8	3.2	3.2	3.8	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2		
経営戦略	経営戦略	経営戦略推進	10	0	3.2400	0.0000	2.6	3.8			3.8					3.2		
		経営戦略立案	5	1	3.1600	3.8000	2.6	3.8			3.8					3.2		
		事業戦略推進	10	0	3.2400	0.0000	2.6	3.8			3.8					3.2		
		事業戦略立案	7	3	3.2571	3.2000	2.6	3.8			3.8					3.2		
デザイン戦略	デザイン戦略	デザイン戦略推進	6	2	3.2667	3.5000	2.6	3.8			3.8					3.2		
		デザイン戦略立案	5	3	3.3200	3.3333	2.6	3.8			3.8					3.2		
		コンセプト立案推進	12	0	3.2333	0.0000	2.6	3.8	3.2		3.2	3.8				3.2		
		要求仕様作成Ⅰ	17	1	3.0353	3.8000	2.6	3.8	3.2		3.2	3.8	3.2			3.2		
コンセプト立案	コンセプト立案	要求仕様作成Ⅱ	15	2	3.1067	2.5000	2.6	3.8	3.2		3.2	3.8		3.2		3.2		
		アイデア発想Ⅰ	9	5	3.3778	3.0800	2.6	3.8								3.2		
		アイデア発想Ⅱ	9	5	3.3778	3.0800	2.6	3.8								3.2		
		アイデア発想Ⅲ	9	5	3.3778	3.0800	2.6	3.8								3.2		
		アイデア整理Ⅰ	16	0	3.0250	0.0000	2.6	3.8								3.2		
		アイデア整理Ⅱ	16	0	3.0250	0.0000	2.6	3.8								3.2		
		アイデア整理Ⅲ	16	0	3.0250	0.0000	2.6	3.8								3.2		
		商品企画立案Ⅰ	9	0	3.1778	0.0000	2.6	3.8								3.2		
		商品企画立案Ⅱ	9	0	3.1778	0.0000	2.6	3.8								3.2		
		商品企画立案Ⅲ	9	0	3.1778	0.0000	2.6	3.8								3.2		
ユーザー調査	ユーザー調査	定量調査	2	9	3.2000	3.3111	2.6	3.8		3.2	3.2	3.8		3.2	3.2	3.2		
		定性調査Ⅰ	2	7	3.2000	3.3429				3.2	3.2	3.8	3.2	3.2		3.2		
		定性調査Ⅱ	2	7	3.2000	3.3429				3.2	3.2	3.8	3.2	3.2		3.2		
		定量調査	3	6	3.4000	3.2667				3.2	3.2	3.8	3.2	3.2		3.2		
トレンド調査	トレンド調査	定性調査	3	6	3.4000	3.2667				3.2	3.2	3.8	3.2	3.2		3.2		
		シース調査Ⅰ	4	3	3.3500	3.1333	2.6	3.8	3.2		3.8				3.2			
		シース調査Ⅱ	4	3	3.3500	3.1333	2.6	3.8	3.2		3.8				3.2			
		調査解析	3	6	3.4000	3.2667				3.2	3.2	3.8	3.2	3.2		3.2		
アカウンティング	アカウンティング	アカウンティングⅠ	8	1	3.2500	3.8000			3.8		3.2		3.8		3.2			
		アカウンティングⅡ	8	1	3.2500	3.8000			3.8		3.8		3.8		3.2			
		ファイナンスⅠ	2	7	3.1000	3.4571			3.8	3.2	3.2	3.8			3.2			
		ファイナンスⅡ	2	6	3.1000	3.4400			3.8	3.2	3.2	3.8			3.2			
企業倫理	企業倫理	ファイナンスⅢ	2	6	3.1000	3.4400			3.8	3.2	3.2	3.8			3.2			
		コンプライアンス	5	4	3.4000	2.9000	2.6	3.8	3.2						3.2			
		CSR	5	4	3.4000	2.9000	2.6	3.8	3.2						3.2			
		ラフスケッチ	4	3	2.8000	3.2667												
視覚表現	視覚表現	スケッチ	2	5	1.9000	3.4400												
		レンダリング	2	4	1.9000	3.8000												
		CADレンダリング	1	2	0.0000	3.5000												
		造形基礎	6	3	2.4000	2.8867												
基礎製図	基礎製図	図面リテラシー	7	3	2.0268	3.1333												
		CADリテラシー	6	1	1.7333	3.8000												
		プロトタイプモデルリテラシーⅠ	3	3	2.4667	3.6000												
		プロトタイプモデルリテラシーⅡ	3	1	2.4667	3.2000												
プロトタイプモデル	プロトタイプモデル	プロトタイプモデル実装Ⅰ	3	3	2.4667	3.6000												
		プロトタイプモデル実装Ⅱ	3	1	2.4667	3.2000												
		機構基礎	5	5	2.0800	3.0800												
		機構実装Ⅰ	3	7	1.9333	2.8571												
機構設計	機構設計	機構実装Ⅱ	3	7	1.9333	2.8571												
		材料基礎	9	2	2.3111	3.2000												
		材料実装Ⅰ	4	5	2.1500	3.0000												
		材料実装Ⅱ	4	5	2.1500	3.0000												
素材・材料技術	素材・材料技術	材料実装Ⅲ	4	5	2.1500	3.0000												
		材料実装Ⅳ	4	5	2.1500	3.0000												
		材料実装Ⅴ	4	5	2.1500	3.0000												
		材料実装Ⅵ	4	5	2.1500	3.0000												

いては合計値や偏差値など、様々な計算方法がありますが、各社の考え方に沿って算
出方法を決定してください。

それら得た数値を基準にソートを行うと、現在状況における「習得すべきスキル」の重要度が算出できます。これに基づいて現状の社内において習得すべきスキルを検討してください。

ユニット名			コンサルティング&リサーチ							商品企画			
	Q平均値	▲平均値	技術分析・製品分析	問題抽出	社会動向調査・トレンド調査	市場調査・ユーザー調査	競合調査	モニター調査	経営戦略提案	プランニング	事業企画・立案	経営戦略	流通販路計画
デザインの歴史Ⅰ	3.6000	0.0000			3.2					3.2	3	2.6	3.2
デザインの歴史Ⅱ	3.6000	0.0000			3.2								
戦後の社会変化とデザインの変遷	3.6000	0.0000			3.2								
現代社会とデザイン	3.6000	0.0000			3.2								
デザインと文化Ⅰ	3.6000	0.0000			3.2								
デザインと文化Ⅱ	3.6000	0.0000			3.2								
情報セキュリティマネジメント	3.5000	2.1778		3.8					3.2		3		
デザインと人間Ⅰ	3.4286	0.0000									3		
デザインと人間Ⅱ	3.4286	0.0000									3		
デザインと人間Ⅲ	3.4286	0.0000									3		
定量調査	3.4000	3.2667			3.2	3.2	3.8	3.2	3.2	3.2	3		
定性調査	3.4000	3.2667			3.2	3.2	3.8	3.2	3.2	3.2	3		
定量調査解析	3.4000	3.2667			3.2	3.2	3.8	3.2	3.2	3.2	3		
定性調査解析	3.4000	3.2667			3.2	3.2	3.8	3.2	3.2	3.2	3		
コンプライアンス	3.4000	2.9000	2.6	3.8	3.2				3.2	3.2	3	2.6	
CSR	3.4000	2.9000	2.6	3.8	3.2				3.2	3.2	3	2.6	
流通業務	3.4000	2.4667		3.8					3.2		3	2.6	3.2
CSRマネジメント	3.4000	0.0000		3.8					3.2	3.2	3		
アイデア創出Ⅰ	3.3778	3.0800	2.6	3.8					3.2	3.2	3	2.6	3.2
アイデア創出Ⅱ	3.3778	3.0800	2.6	3.8					3.2	3.2	3	2.6	3.2
アイデア創出Ⅲ	3.3778	3.0800	2.6	3.8					3.2	3.2	3	2.6	3.2
シース調査Ⅰ	3.3500	3.1333	2.6	3.8	3.2		3.8		3.2		3		
シース調査Ⅱ	3.3500	3.1333	2.6	3.8	3.2		3.8		3.2		3		
コーポレートガバナンス応用	3.3333	0.0000		3.8					3.2		3		
環境デザイン基礎Ⅰ	3.3333	3.5000							3.2		3		
環境デザイン基礎Ⅱ	3.3333	3.5000							3.2		3		
環境に関する法規と制度	3.3333	3.5000							3.2		3		
環境に関する社会動向	3.3333	3.5000							3.2		3		
デザイン戦略立案	3.3200	3.3333	2.6	3.8			3.8		3.2	3.2	3		
文化人類学概論	3.3200	3.5000			3.2	3.2		3.2	3.2	3.2			
文化人類学応用	3.3200	3.5000			3.2	3.2		3.2	3.2	3.2			
社会モデルとデザイン	3.3111	0.0000	2.6	3.8	3.2	3.2	3.8	3.2	3.2	3.2	3	2.6	3.2
プレゼンテーション基礎Ⅰ	3.2941	0.0000	2.6	3.8	3.2	3.2	3.8	3.2	3.2	3.2	3	2.6	3.2
プレゼンテーション基礎Ⅱ	3.2941	0.0000	2.6	3.8	3.2	3.2	3.8	3.2	3.2	3.2	3	2.6	3.2
プレゼンテーション応用Ⅰ	3.2941	0.0000	2.6	3.8	3.2	3.2	3.8	3.2	3.2	3.2	3	2.6	3.2

3.3.3. 今後の人材育成・調達指針策定（B 方向）

スキルスタンダードではスキルユニットシートを主キーとしてキャリアシートと業務フローシートが連結しているため、データベース上で連結させた場合、それぞれの影響度を算出することができます。例えば、業務フロー上の「○」を 1.0、「▲」を 0.5 とし、キャリアパス上の「○」「●」を 1.0、「△」「▲」を 0.2 とし、スキルユニットシートを軸に

(スキルユニットシート／業務フローシート対応表行列)

×

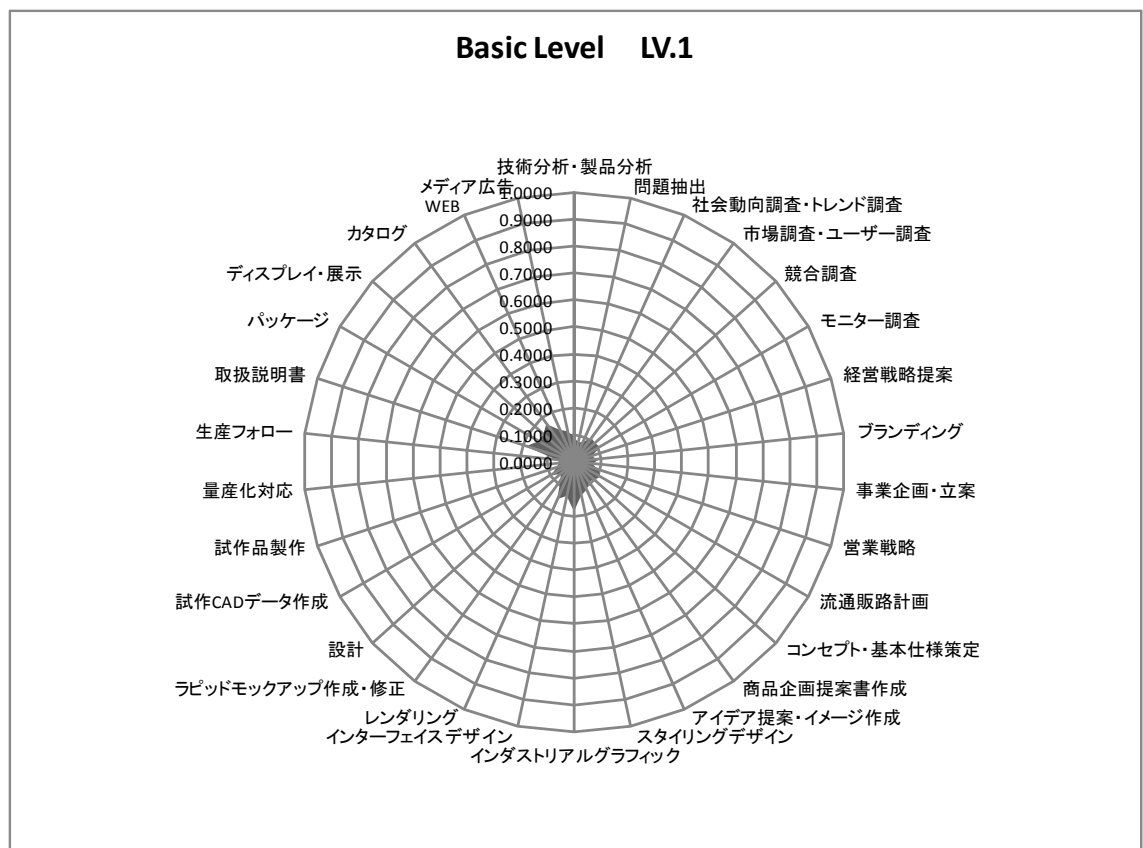
(スキルユニットシート／キャリアシート対応表行列)

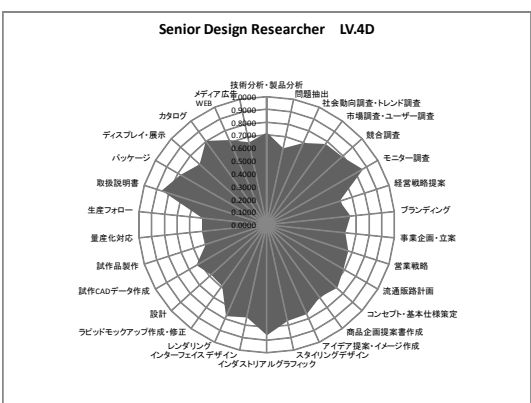
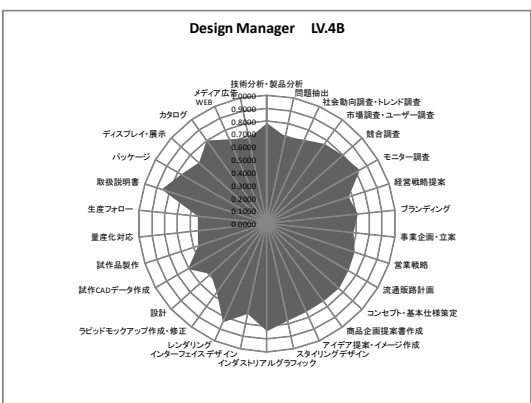
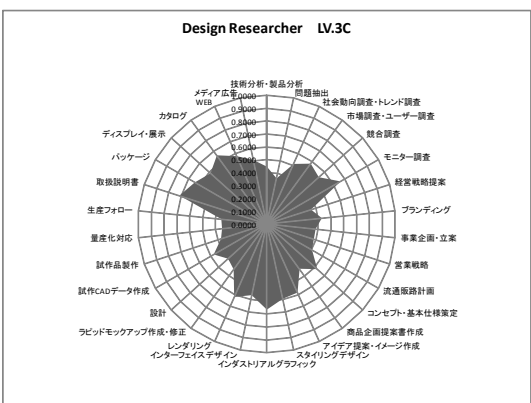
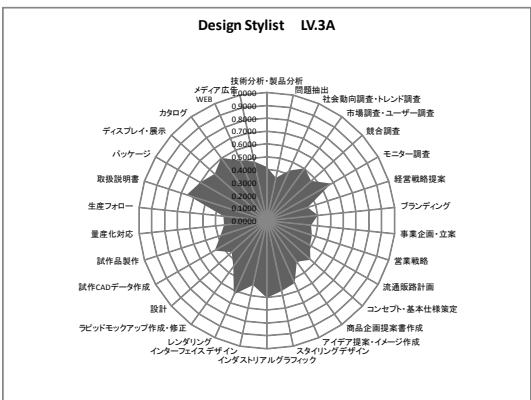
の計算を行うと次頁のような「業務フローシート／キャリアシート影響度行列」を作成することができる。

		LV.1 Basic Level LV.1	LV.2 Assistant Designer LV.2	LV.3			LV.4				LV.5					LV.6		
		Design Stylist LV.3A	Design Engineer LV.3B	Design Researcher LV.3C	Senior Design Stylist LV.4A	Design Manager LV.4B	Senior Design Engineer LV.4C	Senior Design Researcher LV.4D	Design Director LV.5A	Producer LV.5B	General Manager LV.5C	Technical Manager LV.5D	Research Manager LV.5E	Design Officer LV.6A	Executive Officer LV.6B	Technical Officer LV.6C		
コンサルティング&リサーチ	技術分析・製品分析	0.0956	0.2132	0.4206	0.4471	0.4441	0.8044	0.7824	0.7456	0.7191	0.7279	0.8074	0.9382	0.8750	0.8279	0.7956	0.9265	0.8838
	問題抽出	0.0743	0.1714	0.3429	0.3634	0.3611	0.4971	0.6926	0.6297	0.6091	0.5794	0.7486	0.8937	0.7463	0.7097	0.6686	0.9337	0.7531
	社会動向調査・トレンド調査	0.0826	0.2810	0.4296	0.4364	0.5091	0.5554	0.7140	0.6347	0.6975	0.6331	0.7471	0.7868	0.6860	0.7190	0.6760	0.7917	0.6860
	市場調査・ユーザー調査	0.1111	0.3444	0.5067	0.5022	0.5778	0.6400	0.7687	0.7200	0.7778	0.7178	0.8622	0.9556	0.7800	0.7978	0.7489	0.8489	0.7800
	競合調査	0.1053	0.2842	0.4653	0.4821	0.5411	0.6295	0.7937	0.7474	0.7895	0.7347	0.8684	0.9305	0.8211	0.8295	0.7684	0.9032	0.8421
	モニター調査	0.1127	0.3803	0.5803	0.5746	0.6592	0.7493	0.8338	0.8000	0.8620	0.8479	0.8535	0.8761	0.8761	0.8986	0.8535	0.8535	0.8761
企画・デザイン	経営戦略提案	0.0683	0.1805	0.3356	0.3424	0.3590	0.4673	0.6683	0.5707	0.5841	0.5668	0.7220	0.8380	0.6907	0.6712	0.6566	0.8876	0.7044
	ブランディング	0.0921	0.2588	0.4913	0.3974	0.4276	0.5632	0.7105	0.6224	0.6526	0.6942	0.8132	0.8645	0.7159	0.7211	0.7461	0.8737	0.7447
	事業企画・立案	0.0686	0.2010	0.3480	0.3637	0.3794	0.4980	0.6765	0.5873	0.6127	0.5951	0.7480	0.8461	0.6961	0.6843	0.6814	0.9010	0.7098
	営業戦略	0.0956	0.2279	0.3706	0.3991	0.3824	0.5441	0.7176	0.6250	0.6647	0.6632	0.8191	0.8779	0.7441	0.7441	0.7324	0.9294	0.7544
	流通販路計画	0.1121	0.2414	0.3997	0.3997	0.4934	0.5914	0.7326	0.6741	0.6879	0.6983	0.8596	0.9034	0.7914	0.7914	0.7596	0.9506	0.8034
	コンセプト・基本仕様策定	0.0950	0.3128	0.4581	0.4726	0.5251	0.6223	0.7553	0.6804	0.7363	0.7316	0.8358	0.9302	0.7497	0.7721	0.7705	0.8391	0.7699
	商品企画提案書作成	0.0940	0.2416	0.3987	0.4040	0.4309	0.5691	0.7496	0.6537	0.6993	0.7907	0.8430	0.8872	0.7678	0.7624	0.7756	0.9235	0.7839
	アイデア提案・イメージ作成	0.1138	0.3617	0.5353	0.6156	0.5832	0.8062	0.7545	0.8132	0.7641	0.7701	0.7968	0.7968	0.8407	0.8024	0.7605	0.7968	0.8407
	スタイリングデザイン	0.1277	0.3688	0.5631	0.6768	0.5843	0.7489	0.7759	0.9121	0.7688	0.8227	0.8071	0.8241	0.9021	0.8284	0.8099	0.8071	0.9021
	インダストリアルグラフィック	0.1649	0.4487	0.6050	0.6471	0.6655	0.7916	0.8403	0.8723	0.8639	0.8756	0.8773	0.8924	0.9328	0.9311	0.8773	0.8790	0.9328
	レンダリング	0.1296	0.3568	0.5160	0.6148	0.5654	0.8040	0.7210	0.8494	0.7407	0.7481	0.7461	0.7605	0.8617	0.7926	0.7506	0.7506	0.8617
	ラピッドモックアップ作成・修正	0.1515	0.4545	0.6333	0.7182	0.7818	0.8424	0.9091	0.7818	0.8909	0.8036	0.9121	0.8970	0.8670	0.8606	0.8667	0.8836	0.8970
設計・生産	試作CADデータ作成	0.0870	0.2935	0.4457	0.5978	0.4370	0.6739	0.6652	0.8696	0.5913	0.7652	0.8604	0.6978	0.7913	0.6609	0.6957	0.6457	0.7913
	設計	0.0657	0.2150	0.3700	0.5174	0.4038	0.5324	0.5887	0.8300	0.5840	0.5869	0.5803	0.6329	0.8376	0.6432	0.5878	0.6047	0.8225
	試作品製作	0.1000	0.3250	0.4700	0.6300	0.4750	0.6775	0.7100	0.8625	0.6325	0.7775	0.7150	0.7475	0.7700	0.7200	0.7275	0.6875	0.7700
	量産化対応	0.0678	0.2373	0.3814	0.5763	0.3729	0.6244	0.5644	0.8593	0.5000	0.6119	0.5678	0.5898	0.8102	0.5661	0.5780	0.5492	0.8102
	パッケージ	0.0571	0.1817	0.3360	0.4789	0.3486	0.4880	0.5417	0.7886	0.5074	0.5543	0.5406	0.5920	0.8217	0.5794	0.5487	0.5714	0.8034
	生産フォロー	0.0571	0.1780	0.3417	0.4846	0.3543	0.4880	0.5417	0.7886	0.5074	0.5543	0.5406	0.5920	0.8217	0.5794	0.5487	0.5714	0.8034
	取扱説明書	0.1892	0.4189	0.6568	0.6676	0.7108	0.7703	0.8622	0.8595	0.8595	0.8649	0.8676	0.9027	0.9405	0.9405	0.8676	0.8811	0.9405
	ディスプレイ・展示	0.1538	0.3956	0.6000	0.6008	0.6440	0.7033	0.7692	0.7758	0.7758	0.7890	0.8462	0.8198	0.8308	0.8308	0.8505	0.8593	0.8308
	カタログ	0.1538	0.3846	0.5481	0.5558	0.5885	0.6442	0.7115	0.7192	0.7038	0.7365	0.7365	0.7654	0.7692	0.7615	0.7923	0.8000	0.7692
	WEB	0.1750	0.4125	0.6875	0.6175	0.6575	0.7250	0.8000	0.8075	0.8075	0.8125	0.8775	0.8575	0.8700	0.8700	0.8800	0.8900	0.8700
販促	メディア広告	0.1321	0.3586	0.5151	0.5491	0.5755	0.6415	0.7189	0.7415	0.7206	0.7226	0.7981	0.7717	0.7906	0.7792	0.7811	0.7792	0.7906
	メディア広告	0.1176	0.3277	0.4739	0.4790	0.5076	0.5697	0.6807	0.6555	0.6571	0.6723	0.8000	0.7697	0.7328	0.7328	0.7244	0.7849	0.7328

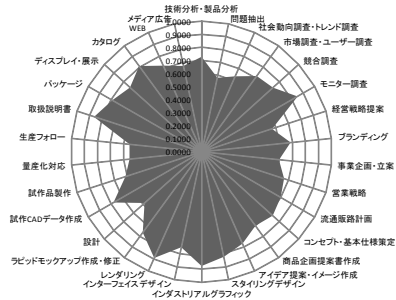
これらの数値をグラフ化すると下図以降のグラフが作成できます。なお、ここで使用した変数（「○」「▲」等の代入値）は各社の状況に応じて変更してください。

このグラフと先ほどの現状把握とを突き合わせることによって、今後獲得すべき人材および、社内の人材育成の方向性を勘案してください。同じような計算方法によって各スキルそのものの影響値も算出することが可能ですので、人材育成の指針として教育プログラムを作成する場合はその方法を採用してください。

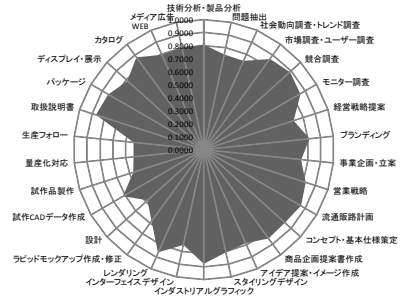




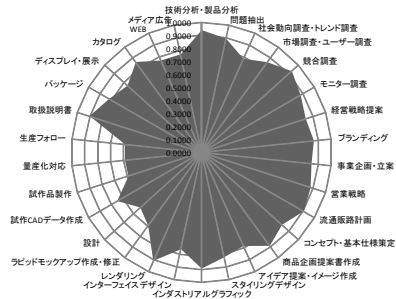
Design Director LV.5A



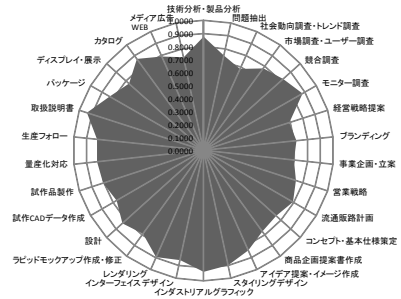
Producer LV.5B



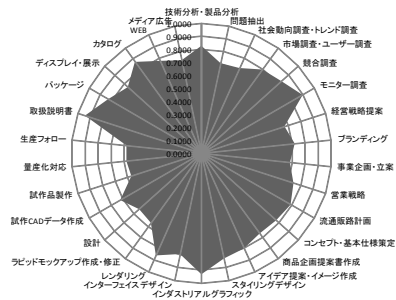
General Manager LV.5C



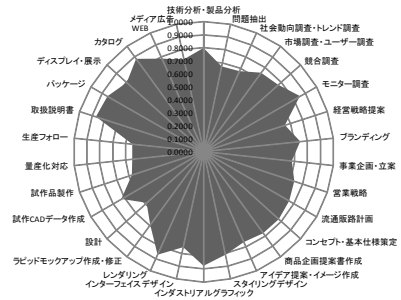
Technical Manager LV.5D



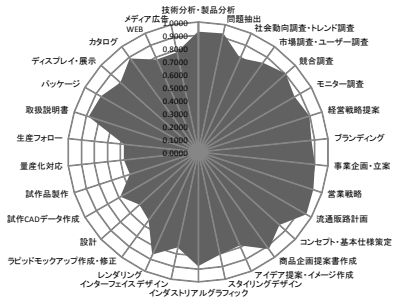
Research Manager LV.5E



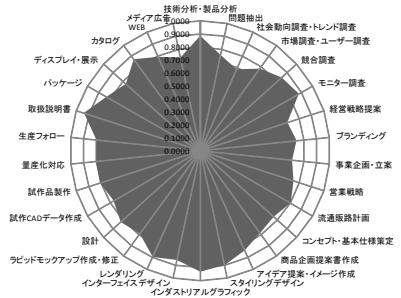
Design Officer LV.6A



Executive Officer LV.6B



Technical Officer LV.6C



3.4. 人材育成機関のプログラム策定および認定における使用方法

スキルスタンダードはその考え方のひとつに「教育パッケージ開発の支援」という部分があります。教育プログラムとして考えた場合、スキルユニットシートは「講座名」と捉える事ができ、キャリアシートは「コース名」と捉える事ができます。スキルスタンダードの考え方では現状のスキルユニットシートおよびキャリアシートはあくまで「現段階のもの」であり、真の目的はインフラ構築にあります。したがって、現状のシートを参考にしつつ、プログラムとして独自プログラムを作成していただいて構いません。ただし、運用方法としては下記の図のようになりますので、必ずスキルスタンダードのデータベースと連携を取るようになしてください。

なお、認定については今後、「スキルスタンダードシステムに則ったプログラム」としての認定を行うシステムへと拡充する予定です。

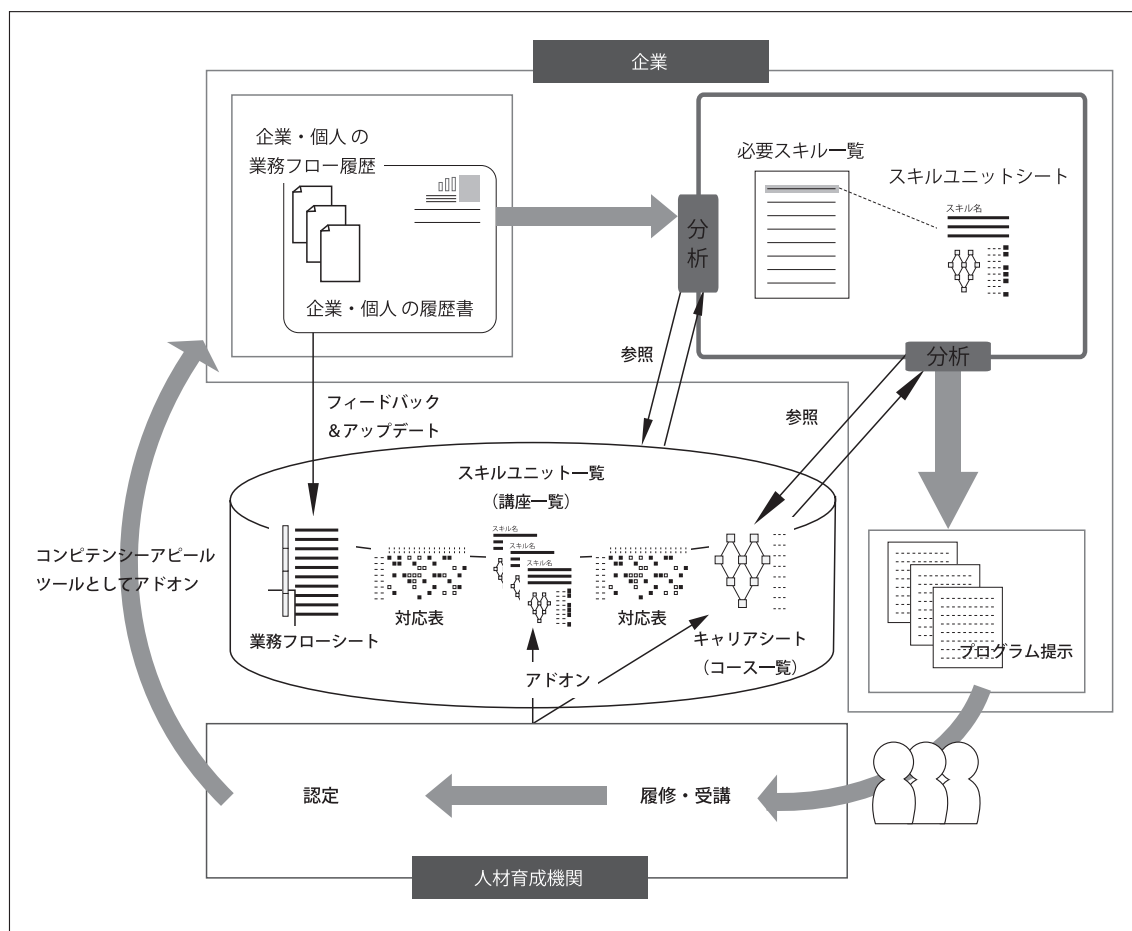


図9 人材プログラムを念頭としたシステム運用図

登録番号:(21)278号

平成22年3月発行

「東京版スキルスタンダード(産業デザイン分野)」

東京都産業労働局商工部経営支援課

〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1

電話 (03)5320-4659

委託機関

財団法人日本産業デザイン振興会

〒107-6205 港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー5階

電話 (03)6743-3777